

自然食品の店「ブラザナチュラル」から お歳暮ギフトのご案内

冬の贈り物の季節となりました。贈り物の準備はお済でしょうか？
 今年も自然食品の店「ブラザナチュラル」では12月2日(月)~12月20(金)(注文締切り日)の期間でお歳暮ギフトの販売を致します。
 大人気のドレッシング詰合せやレトルトカレーをはじめ、冷凍新商品として水俣のモンヴェール農山の豚肉加工品の詰合せや当店オリジナルのピザなども取り揃えております。
 毎年ご好評のお正月に欠かせない「福田病院母と子の農園」米使用の餅の詰合せもご用意しております。
 クリスマスは恒例のケーキ、シュトーレンの販売を致します。シュトーレンはコアラ工房のパティシエ手作りです。毎年たくさんの方にご注文頂いております。
 冬の贈り物はぜひ、「ブラザナチュラル」の商品をご利用下さい。



お問い合わせは、福田病院1F 自然食品の店「ブラザナチュラル」 TEL・FAX 096-322-9278

血圧・体重測定器が新しくなりました

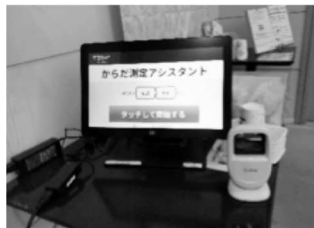
4階外来に設置してある妊婦健診時の血圧・体重測定器が変更になりました。
 これまでは測定結果をスタッフへ手渡し頂いておりましたが、下記の方法で測定頂く事で測定の数値が自動的に電子カルテに送られるため、記入等の手間が省け、測定がスムーズに行えるようになりました。



【使用方法】

- ① 最初に画面をタッチする
- ② 受付番号表のバーコードをバーコードリーダーに読み込ませる
- ③ 音声ガイドに従って、測定する

ご不明な点はスタッフへお気軽にお声かけください。



年末年始休診のお知らせ

12/30 月	31 火	1/1 水	2 木	3 金
通常通り	休診	休診	休診	通常通り

個人情報の利用について

当院がコアラジャーナル郵送のためにお預りしている氏名、住所等の個人情報は、コアラジャーナルの郵送の他、当院で開催する行事のご案内や重要なお知らせ等を送付する目的で利用させていただきます。それ以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、あらかじめご本人の同意をいただきますので、ご了承ください。

住所が変更になられた方は、福田病院までご連絡下さい。

コアラジャーナル編集部



コアラ ジャーナル

KOALA JOURNAL

発行所 熊本市中央区新町2丁目2-6
 〒860-0004 電話 (096) 322-2995
<http://www.fukuda-hp.or.jp>
info@fukuda-hp.or.jp
 愛育会 福田病院
 購読料 一部 30円 年間300円
 第473号 毎月1回 1日発行

災害と周産期医療（災害時小児周産期リエゾンについて）

副病院長 新田 慎

2024年は元旦から能登半島地震のニュース映像が流れ、熊本地震の記憶が蘇りました。その後も、猛暑によるゲリラ豪雨や台風による豪雨災害が、各地で発生し、災害の多い一年でした。能登半島地震・豪雨被害では、基幹病院に大きな被害が無かったことから、周産期医療への影響はそれほど大きくなかったようです。

皆様は「災害時小児周産期リエゾン」をご存知ですか？ これは、東日本大震災の経験から、災害対策本部の下で小児周産期医療に関する情報収集や関連機関との調整を行うコーディネーターの必要性が認識され、国は、2016年より「災害時小児周産期リエゾン」の養成を開始しました。

熊本地震では「災害時小児周産期リエゾン」は県庁内の災害対策本部のDMAT調整本部内で活動を行っており、その有用性が確認されました。本震当日には、熊本・益城地区にてライブラインの遠隔などで、17施設で分娩

の受け入れが困難となったことが分かり、熊本大学を中心に「熊本地震緊急周産期医療対策プロジェクト」を立ち上げ、妊婦トリアージが始まり、当院は幸いに診療機能は比較的保たれていたため、多数の妊婦さんの受入を行いました。また、日本産婦人科学会などから、物的・人的支援も得、多数の大学からの医師派遣もあり、地震後も、通常と変わらぬ診療が続けられました。

熊本県は熊本地震の教訓から、「災害時小児周産期リエゾン」の養成を始めています。私は、2017年に災害時小児周産期リエゾンの研修を受け、現在、熊本県では私を含め7名の産婦人科医と13名の小児科医が熊本県災害時小児周産期リエゾンに任命されています。その役割は、災害時の小児周産期の保健医療ニーズを情報収集し発信すること、関連機関との調整などですが、そのためには、平時より周産期医療ネットワークを構築し、精通し

ている必要があります。幸いなことに、過去7年間は一度も呼び出されたことはありません。これ以外にも、広域防災訓練への参加なども行っています。

災害に備えるためには、突然の災害時に機能する周産期医療体制を、平時から作り上げ、維持することが大切です。熊本県では2009年より「周産期医療ホットライン」PHS(現在ではスマホ)を導入し、通常の診療においても、熊本県の周産期母子医療センター間で、母体搬送の受入の相談を行っています。このため、熊本地震の際にも、周産期医療の情報共有は速やかに行うことができ、熊本県では、平時からの連携が機能していました。

地球温暖化のためか、今年は10月末まで夏日続き、台風やゲリラ豪雨による災害も多数発生しました。さらに、本年8月には、南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されました。今後もしつ災害に遭遇するかわかりません。緊急の避難に備えて、避難バックなどを用意しておくことが勧められています。皆様も是非ご準備をお願いします。

母親学級(各教室等)、マタニティスポーツやよちよちサークルの開催については下記へお問合せください。

●母親学級（各教室等）のお問合せ●

< ゆうかり倶楽部 > 【受付時間】9：00～17：00(日祝除く)
 【ゆうかり倶楽部直通番号】TEL：096-322-5116

